

6月は土砂災害防止月間です。

■雨の季節、土砂災害に注意を！

6月に入り梅雨期をむかえると土砂災害の危険が高まります。例年この時期になると梅雨前線豪雨による土砂災害が全国各地で頻発しています。また、近年は1時間あたりの雨量が50ミリを超えるような猛烈な雨＝局地的大雨が降る回数が増えている傾向が見られます。このため土砂災害の規模も大きくなることが心配されています。自宅周辺や生活圏内に土砂災害の危険箇所がある場合は、雨に注意して土砂災害に十分警戒することが大切です。

■6月は土砂災害防止月間です。

「土砂災害防止月間」は土砂災害防止に対する国民の理解と関心を深めるとともに、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備促進などの運動を強力に推進し、土砂災害による人命、財産の被害の防止に資することを目的として、昭和57年の長崎大水害を契機に、翌昭和58年から実施されています。6月1日～30日までの期間の間に、全国各地で様々な取り組みが行われます。

みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間
6/1→30
がけ崩れ防災週間6月1日▶7日



土砂災害防止月間の契機となった長崎豪雨災害

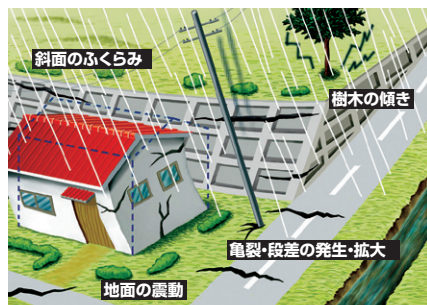
こうした現象は土砂災害の前兆現象です

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

地すべり



土石流



がけ崩れ

